


2017年2月18日(土) 4月16日(日)まで

東京ステーションギャラリー  
TOKYO STATION GALLERY

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1  
電話: 03-3212-2485 交通: JR東京駅 丸の内北口 改札前  
<http://www.ejref.or.jp/gallery/>

●開館時間: 午前10時から午後6時まで(金曜日は午後8時まで、入館は閉館30分前)  
●入館料: 一般900(800)円、高校・大学生700(600)円、中学生以下無料 \* (内は20名以上の団体料金) \* 障がい者手帳等ご持参の方は100円引(介添者1名は無料)  
●休館日: 月曜日(3月20日は開館)、3月21日



POP  1964 T.Y.

横尾忠則「POPでTOPを!」1964年頃

パロディ、二重の声

【日本の一九七〇年代前後左右】

●主催... 東京ステーションギャラリー(公益財団法人東日本鉄道文化財団)  
●Special Cooperation with Cappellini Point Tokyo Team Iwakiri Products



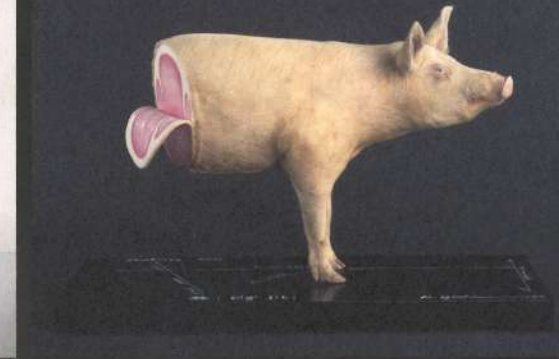
# 技を呼び戻せ

## 【右も左もパロディづくし! 機知と批評の技を呼び戻せ】

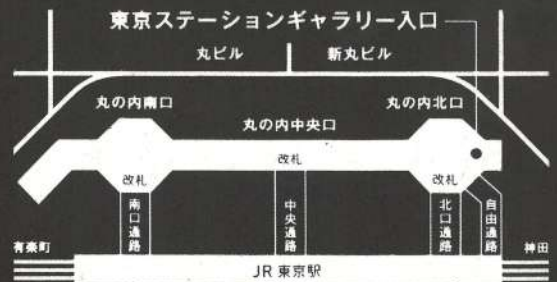
1960年代から日本のアーティストが頻繁に実践し、70年代に入るとテレビや雑誌などを通じて社会的に流行した「パロディ」。ありとあらゆる文化がパロディに染まったこの現象は、モダンとポストモダンの隙間に開花した徒花であったのか? そもそもパロディとは何なのか? 無事に開催できるのか? 日本語として定着し、それでいてなお不明瞭であり続けるこのパロディという技術または形式に、あえて時代を区切って生々しく具体的に迫ります。絵画やイラスト、めったに見られない漫画原稿や貴重なテレビ映像、裁判記録など、珍しい出品作にもご期待ください。

### ● 出血大サービス! 特別記念講演会

- ① 『パロディと私』 / 2月19日(日) / 講師: 会田誠(美術家)
- ② 『1965年 パロディについて』 / コトバをはじめてきた / 2月26日(日) / 講師: 南伸坊(イラストレーター、装丁家、エッセイスト)
- ③ 『パロディ・マンガ史』 / 3月4日(土) / 講師: 夏目房之介(漫画コラムニスト)
- ④ 『パロディ展のてんまつ』 / 4月9日(日) / 講師: 成相肇(東京ステーションギャラリー学芸員)



1. 長谷邦夫「バカ式」原画より、1970年、作家蔵
2. 吉村益信《豚:PigLib》1994年、大分市美術館蔵
3. 倉俣史朗《Homage to Mondrian #1》1975年 / Cappellini 2009 ©KURAMATA DESIGN OFFICE
4. アート・エージェンシー・トウキョウ 『伊丹十三のアートレポート「賢屋にて」』1976年
5. 『ビッカリハウス』創刊号、1975年
6. 赤瀬川原平《櫻画報 1971年3月19日号》より、1971年



交通: JR 東京駅 丸の内北口 改札前(東京駅丸の内駅舎内)

東京ステーションギャラリー  
TOKYO STATION GALLERY

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1  
電話: 03-3212-2485 <http://www.ejrf.or.jp/gallery/>

①-④ すべて18時半開場、19時から約90分。展示室にて無料講演会、定員70名。1月28日以降(ただし2月11日・12日を除く)の10時から18時、電話(03-3212-2485)でお申し込みください。定員に達し次第受付終了。閉館後のイベントのため展覧会はご覧になれません。

- ギャラリートーク(学芸員による展覧会解説) 3月1日(水)、15日(水)、29日(水) 14時から(約30分) / 3階展示室集合 / 参加無料(別途要入館料)
- レンガ・タッチ&トーク(レンガが特徴の当館のたても解説) 3月10日(金)、24日(金)、4月7日(金) 14時から(約30分) / 1階エントランス集合 / 参加無料(別途要入館料)
- 東京駅周辺美術館学生無料ウォーク 3月1日(水)から15日(水)
- ➔ 次回展覧会「アドルフ・ヴェルブリ 二萬五千頁の王国」4月29日(土)~6月18日(日)